

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ディスプレイ・POP演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	野村玲子	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>POP広告は、薬局・薬店・ドラッグストアはもちろん、店舗のみならず、医療や介護施設、公共のサービスにおいても「わかりやすい情報伝達手段」として活用され、重要性を増しています。このように、多方面でも活用できるPOP広告作成技術の習得を目指します。POP広告作成技術を習得することにより、売上のUP・商品知識・販売意欲・サービスの向上など現場を活性化することができます。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>学期末テスト(学科+実技)、POP作品等提出物、小テスト、授業態度、出席日数を総合して行う。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>テキスト: 講師オリジナル資料。 教材: マーカー(プロッキーツイン細・太、プロッキーツイン極細・細字、ポスカ極太・角ペン)POP用紙、コピー用紙、色画用紙、のり、はさみ。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>普段の生活の中で、POP広告を何気なく見るのではなく、よく観察しましょう。その中で気になったり、いいなと思ったPOP広告の、どこが良かったのか、レイアウト、キャッチコピー等をメモし、自分のPOP広告作成に活かしてみよう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>文字を書くことが苦手でも、センスがなくても心配いりません。POP広告の基本とコツを知れば、POPを書くことが楽しくなり、販促の知識もどんどんレベルアップします。売り場は活性化し、お店の売り上げも上がります。POPの技術は他にも様々なシーンで役立ちます。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	POP広告の必要性と役割を理解することができる。 丸ペンでPOP書体が描ける。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	POP広告の基礎知識。 丸ペンの使い方と基本練習・丸ペンレタリング(カタカナ、ひらがな、)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	丸ペンでPOP書体が描ける。見やすくわかりやすい文章が描ける。簡単なPOPが作成できる。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	丸ペンレタリング(漢字、数字、アルファベット、単語、文章) 丸ペンを使った簡単なPOP作成。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	角ペンの特徴を知り、基本的な使い方ができる。 角ペンの特徴を生かした線が描ける。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	角ペンの基本練習(線・円・つなぎ) 角ペンレタリング(線練習)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	角ペンでPOP書体が描ける。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	角ペンレタリング(カタカナ・ひらがな)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	角ペンでPOP書体が描ける。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	角ペンレタリング(漢字・英字・数字・単語)			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 見やすいレイアウトのコツとPOP作成の手順を学び、効果的なPOP作成ができる。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。
	各コマにおける授業予定	レイアウトのポイント、POP作成の手順。 丸ペン・角ペンを使ったサンプルPOP作成。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 デザイン文字が描ける。平ペンの特徴を知り、基本的な使い方ができる。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。
	各コマにおける授業予定	デザイン文字レタリング。 平ペン基本レタリング。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 平ペンで数字が描ける。 色々なペンを使って訴求力あるPOPが作成できる。	テキスト POP用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。
	各コマにおける授業予定	平ペンレタリング(数字)。 丸ペン・角ペン・平ペンを使ったサンプルPOPの作成。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 色彩、POPパターン、コラージュ、イラストについて学び、訴求性あるPOPが描ける。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。
	各コマにおける授業予定	色彩、POPパターン、コラージュについて。基本的なイラストの描き方。人物の描き分け、表情、動きの付け方、動物、小物の描き方など。イラストを使ったPOP作成。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 訴求性あるタイトルPOP作成ができる。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種	普段から様々な店舗のPOPに興味を持つようにしてください。
	各コマにおける授業予定	POP文字小テスト。平ペンレタリング(カタカナ)。 平ペンとイラストを使ったB3サイズタイトルPOPの作成。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 キャッチコピーの考え方を学び、訴求性、提案のあるPOP広告作成ができる。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種	POPのキャッチコピーに注目して見る。
	各コマにおける授業予定	キャッチコピーの考案とそのキャッチコピーを使ったPOP作成。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 ディスプレイの知識を習得し、店舗においての効果的なディスプレイができる。訴求性ある立体POP作成ができる。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種	様々な店舗のディスプレイに興味をもって見る。
	各コマにおける授業予定	ディスプレイについて。 簡単な立体POPの作成。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 与えられた商品について、自分で内容を考え、訴求性あるPOP作成ができる。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種	課題の商品について調べ、授業内で描き終わられるように下調べしておく。
	各コマにおける授業予定	課題商品のPOP作成。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 自分で商品を選び、商品に適したキャッチコピー・レイアウト・色彩等、総合的に訴求性あるPOPが作成できる。	テキスト POP用紙 色画用紙 マーカー各種 プロジェクター	自分がPOP広告に描きたい商品・サービス等を決めて、その内容を下調べし、必要な素材(写真等)を準備する。
	各コマにおける授業予定	生徒作品のビフォー・アフターをプロジェクターで見る。 POP自由作成。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 総まとめを通じて実践でより良いPOP作成ができるようになる。	問題 POP用紙 マーカー各種	
	各コマにおける授業予定	総まとめ(POP広告についての基礎知識・実技POP作成)		